

令和 6 年 4 月 18 日

(※受付番号)

教 育 長 様

研究コース
A グループ研究 A
校 園 コード (代表者校 園 の市 費 コード)
751732

代表者 校 園 名 :	大阪 市 立 長 原 小 学 校
校 園 長 名 :	市 場 達 朗
電 話 :	6708-0105
事 務 職 員 名 :	小 野 麻 朝
申 請 者 校 園 名 :	大阪 市 立 長 原 小 学 校
職 名 ・ 名 前 :	講 師 木 寺 健 司
電 話 :	6708-0105

令和 6 年 度 「が ん ば る 先 生 支 援 」 研 究 支 援 申 請 書

◇本 研 究 の 支 援 を 受 け たく、次 の と お り 申 請 し ます。

1	研究コース	コース名	A グループ研究 A	研究年数	新規研究 (1 年目)
2	研究テーマ	ICT を活用した学校づくり ～ICT 機器を文房具のように使う～			
3	研究目的	<p>テーマに合致した目的を項立てして記載してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 各教科におけるICTを活用した授業展開 決まった教科ではなく様々な教科において、どのようにICTを活用して授業展開していくべきなのかを探る。 全学年におけるプログラミング学習の充実 5,6年生で必須のプログラミング学習を低学年から行っていき、高学年での学習にスムーズに移行できるようにする。 教室におけるICTが活用できる環境整備 児童や教員が使いたいときにすぐに使えるような環境にしていき、ICT機器を文房具のように使える環境を作る。 			
4	研究内容	<p>(1)研究内容の詳細 ※継続研究2年目以降は1年目の記載をコピーして貼付する</p> <p>長原小学校の現状は学習者端末の使用率が30%以下であり、端末の持ち帰りも1年に1回の接続テストのみとなっている。授業での活用は3～6年生では使用頻度は週に1回程度であり、低学年ではほとんど使用できていない。以上のようなことから長原小学校では学習者用端末の低使用率が課題である。そこで今年度は学習者用端末の使用頻度を挙げていくために以下のような取り組みを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本的な機器操作の現状把握、目標設定 情報モラルの実践 校内研修の充実 一人一台端末の教室整備 一人一台端末の家庭学習の充実 ICTに関する情報発信 教科学習における協働学習、個別最適な学び、自己調整力の育成 大阪市が貸出しているプログラミングロボットコーディーロックキーでの実践 <p>まずは、校内配布の情報発信や研修等を通じて、教員のICTスキルを向上させる。そして、児童の機器操作の実態把握、情報モラルの計画立案・実施を通して児童のICTスキルの向上を図る。最後に教科での実践やプログラミングなどの実践を行い、学校全体としてICT機器を使いやすい環境にしていく。</p> <p>(2)継続研究 [2年目] ※継続研究3年目の場合は、2年目の記載をコピーして貼付する</p> <p>(3)継続研究 [3年目]</p>			

5	活動計画	<p>日程や内容など、研究の過程がわかるように詳細に記載してください。</p> <p>4月【研究企画会】 ・研究テーマ、研究の進め方、見込まれる成果等について検討する。 【ICT推進委員会①】 ・研究内容の焦点化を図る。 ・児童アンケート、教員アンケートを作成する。</p> <p>5月【ICT研修会①】 ・年間計画の共通理解を図る。 【ICT推進委員会②】 ・児童アンケート、教員アンケートの実施、分析 ・情報モラル年間計画作成 【ICT研修会②】 ・教科学習におけるICT活用方法事例検討会</p> <p>6月【授業研究会①】（指導案検討会・研究討議会） 7月【授業研究会②】（指導案検討会・研究討議会） 8月【ICT研修会③】 ・プログラミングロボット操作研修会 【ICT研修会④】 ・家庭学習事例検討会</p> <p>9月【授業研究会③】（指導案検討会・研究討議会） 10月【授業研究会④】（指導案検討会・研究討議会） 【授業研究会⑤】（指導案検討会・研究討議会） 11月【授業研究会⑥】（指導案検討会・研究討議会） 12月【ICT推進委員会③】 ・児童アンケート、教員アンケートの実施、分析</p> <p>1月【がんばる先生支援 研究発表会】 2月【ICT推進委員会④】 ・がんばる先生支援報告書作成・提出 3月【ICT推進委員会⑤】 ・研究のまとめ作成 【研究全体会】 ・次年度にむけて、本年度の成果と課題の共通理解</p> <p>出張を伴う研究会への参加、外部講師を招聘する研修会の実施等、経費執行が必要な取組を記載してください。 ・全国〇〇科研究大会 千葉大会参加 ・ICTを活用した〇〇教育の実践者研修会参加 ・授業研究会の指導助言 講師：〇〇大学 〇〇〇〇教授 年4回実施</p>
6	見込まれる成果とその検証方法	<p>(1)継続研究（2年目、3年目）において検証方法の変更の有無を記入してください。</p> <p><input type="checkbox"/> 変更しない。 <input type="checkbox"/> 変更する。</p> <p>理由</p> <p>(2)大阪市教育振興基本計画に示されている、「<u>子どもの心豊かに力強く生き抜き未来を切り開く力の向上</u>」および、「<u>教員の資質や指導力の向上</u>」について見込まれる成果を端的に記載し、その成果について客観的な指標により、必ず数値で示すことができる検証方法を記載してください。（いずれかに☑を入れてください）</p> <p>【見込まれる成果1】</p> <p><input type="checkbox"/> 子どもの心豊かに力強く生き抜き未来を切り開く力の向上 <input checked="" type="checkbox"/> 教員の資質や指導力の向上</p> <p>校内研修を充実させることによって、ICT機器の使用頻度を高め、個々のICTスキルが向上する。</p> <p>《検証方法》 教員アンケートの「学習アプリを取り入れた授業は充実していたか」の項目において、肯定的な回答を4月より10ポイント上昇させる。</p> <p>【見込まれる成果2】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 子どもの心豊かに力強く生き抜き未来を切り開く力の向上 <input type="checkbox"/> 教員の資質や指導力の向上</p> <p>3～6年生ではタイピングを使用した入力を増やしていくことができる。また1・2年生では、手書き入力を使用し、文字を入力していくことができる。</p> <p>《検証方法》 年度の初めと終わりに児童アンケートを行い、「自分でタブレットを操作して（タイピングを使用し）、文字を入力できる。」に関わる項目で5ポイント上昇させる。</p>

<p>6</p>	<p>見込まれる成果とその検証方法</p>	<p>【見込まれる成果3】 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの心豊かに力強く生き抜き未来を切り開く力の向上 <input type="checkbox"/> 教員の資質や指導力の向上 授業や家庭学習等で学習者用端末を使用することで、児童の学習意欲を高め、自分から進んで学習しようとする態度を育てることができる。</p> <p>《検証方法》 年度の初めと終わりに児童アンケートを行い、「タブレットを使用して、授業や家庭学習を行った。」「タブレットを使う学習は楽しい。」に関わる項目で5ポイント上昇させる。</p> <p>【見込まれる成果4】 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの心豊かに力強く生き抜き未来を切り開く力の向上 <input type="checkbox"/> 教員の資質や指導力の向上 学習者用端末や教育情報利用PCの使用頻度を上げることで、児童も教員も抵抗なく端末を使っていくことができ、より協働的な学びや個別最適な学びを広げていくことができる。</p> <p>《検証方法》 学習者用端末の使用チェックプログラムにより、児童の8割以上が端末を使った日数を年間60%以上にする。</p>						
<p>7</p>	<p>研究成果の共有方法</p>	<p>◆研究発表【必須】 報告書提出日（令和7年2月21日）までに必ず行ってください。</p> <p>○研究発表の日程・場所（予定）</p> <table border="1" data-bbox="443 996 1401 1064"> <tr> <td>日程</td> <td>令和 7 年 1 月 24 日</td> <td>場所</td> <td>大阪市立長原小学校 多目的室</td> </tr> </table> <p>◆waku^{x2}.com-bee掲載による共有【必須】</p> <p>○掲載の日程（予定）</p> <table border="1" data-bbox="443 1146 976 1214"> <tr> <td>日程</td> <td>令和 7 年 2 月 21 日</td> </tr> </table> <p>◆他の共有方法を計画している場合は記載してください。</p>	日程	令和 7 年 1 月 24 日	場所	大阪市立長原小学校 多目的室	日程	令和 7 年 2 月 21 日
日程	令和 7 年 1 月 24 日	場所	大阪市立長原小学校 多目的室					
日程	令和 7 年 2 月 21 日							
<p>8</p>	<p>代表校園長のコメント</p>	<p>1. 新規研究（1年目） ※継続研究2年目以降は1年目の記載をコピーして貼付する 大阪市教育振興計画の最重要目標3「学びを支える教育環境の充実」基本的な方向6「教育DXの推進」の目標達成に向けて、全職員でICT教育に取り組む所存である。視聴覚教材や学習者用端末の効果的な活用方法を工夫して、情報活用能力を系統的に育成することができる指導方法について研究を進めていく。</p> <p>2. 継続研究（2年目） ※継続研究3年目の場合は、2年目の記載をコピーして貼付する</p> <p>3. 継続研究（3年目）</p>						